

突然の会社発表にビックリ(WL-CSPの約200名弱の労働者の雇用が問われています)

# WL-CSPの宮崎・タイ移管

## 広がる労働者の雇用不安 ひとりの犠牲者も出さな

### 労働者の雇用が 抜けている会社説明

7月12日に突然WL-CSPの移管について当該職場の約40名を対象に説明がありました。移管理由として、顧客の①価格重視②国内生産へのこだわりが薄れている③OKIセミの将来への不安があることの3点を挙げています。

また、海外の競合会社では生産キャパを広げ低コストで値引き攻勢をかけている事や、国内ではフジクラの撤退やルネサスの被災はあるもののカシオは顧客増となつている事を上げています。

その結果顧客離れを食い止め売上減傾向に歯止めが必要で競合の価格競争に追従できなければ事業継続は出来ないとしています。

しかし、今回の説明では、宮崎に行けない労働者に対する雇用保障については一切触れられませんでした。

### 12年末で

### 八王子生産を終了

一貫後工程の大部分はタイに移し12年3月で終了、その他は宮崎移管で12月末で八王子生産は終了するとしています。

金バンプを宮城に移管する発表も最近されたばかりで、仕事量が減ることへの不安が広がりました。それに追い討ちをかけるような今回の会社施策発表です。

最後に今後、個人面談で話していくとして説明は終わりました。

説明後質問が出され、①宮崎に行けない人の職場確保は②組合に話をしているのか、いつ話したのか③八王子の今後の計画は④面談は誰がやるのか⑤誰が中心になつて移管を実施するのかなど切実な声が上がりました。職場確保については具体的回答はなく、組合には話したと言っていました。が時期については未回答でした。

### 職場集会で疑問・ 要望発言が

発表の翌日に組合が職場集会を開き組合員の意見要望を聞きました。

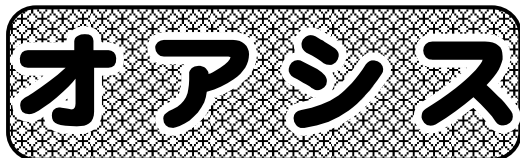
①P2ROMは八王子から宮崎に移管したものの結局一部を除いてすぐにタイへ移管した。その二の舞になるのでは②宮崎に行けない人の職場確保について何ら話がない。また個人面談など個人の問題として対応しようとしているが全体で対応す

べき問題である③八王子をどのようにしようとしているのか④これは組合との協議事項ではないのか④上部団体との連携は⑤組合はもつと積極的に関与すべきである。存在意義が問われる⑤キャパの問題で言えばV2棟にもある。なぜ宮崎なのかなどの声が上がりました。

### 生産の主要な担い手 多摩エレも 危機的状況

約130人が働いている多摩エレも大きな打撃を受けます。今後労働者の職場確保をどう進めるのか注目されます。

OKIセミと多摩エレ及び組合には今回の問題で一人の犠牲者も出さない対応が問われています。



2011年  
7月24号

OKIセミコンダクタの職場を明るくする会

東京都港区三田3-2-20 TEL 03-3455-6006

<http://oakhp02.chottu.net>

職場新聞オアシスはOKIセミコンの職場新聞として発刊しました。東京のオアシスとして世界に誇る高尾山が身近にあることからオアシスと名付けました

# 「OKIセミの仲間と連帯する会」ローム社の株主総会で訴える

OKIセミコンダクタの位置づけ  
「大きく貢献している」

6月29日ローム社の第53期株主総会が開かれました。今年も「OKIセミ連帯する会」の米田徳治さんが質問にたちました。

総会では全体で26件の事前質問が出され、米田徳治さんは事業場（八王子）の維持、継続と、西側跡地の有効活用を中心に16件の事前質問を提出しその全てに回答がありました。

米田徳治さんの質問を皮切りに会場からも10名余が質問に立ち、一問一答形式で自由な雰囲気です。質疑応答が行われました。

## 事業場（八王子）の維持・継続について

米田徳治さんは、「工場での黒字化も達成できたとの事、八王子での事業活動を積極的に進めることは、そこに働く

社員も安心感を持って事業活動に参加できるのではないかと？」との質問に対して、

澤村社長は、「OKIセミコンダクタは利益が5億円出せるようになり、頑張ってもらっている。

今後についてはさらに事業活動が、円滑に進み、利益を出せる構造が進めば、このまま事業が継続できると考えている」と答弁しました。

## 西側の

## 跡地利用について

「有効活用について、澤村社長の発言（自給体制の確保）にあるように、太陽電池パネルなどで、跡地の有効活用と、自給資源体制を確保し、余った電力は地域住民へ還元するというローム社のマネージメント思

想を実現してほしい」と質問すると、「資源の自給については、今後とも節電を進めながら、電力の問題に取り組んで行きたい。太陽電池パネルの提案は貴重なものとして、研究させて頂き、ひとつの提案ということで検討させて頂きたい」と答弁しました

## 京都総評に挨拶

総会前日、連帯する会・事務局長の伊澤明さんと米田徳治さんが京都総評を訪問し、引き続きの支援を要請しました。

京都総評からは事務局長と事務局次長に対応していただきました。（京都総評には一昨年のローム本社ビラ配布宣伝・株主総会会場での宣伝にご協力頂きました。）

## 「OKIセミの仲間と連帯する会」最近の取り組み状況

・6/7 山口和男市議会議員と連帯する会3名で八王子市へ要請。副市長、産業振興課部長・課長が対応し、米田徳治さんは副市長からローム社長宛の「招待状」を託される。

・6/14 八王子総行動で伊澤明事務局長を中心とする要請団がOKIセミコンダクタへ要請。

・6/29 ローム社・OKI株主総会出席

・7/13 八王子市へ要請。副市長「ローム本社（京都）へ出向きたい」と回答。

## WL-CSPとは

Wafer Level Chip Size Package (ウェハレベルチップサイズパッケージ)の略で超小型ICの一種。ウェハのままで再配線や端子形成を行うという特徴があり、インダクタンスを低減させること等ができる。

## P2ROMとは

Production Programmed ROM (ピーツーロム)の略でユーザ提供ROMデータをOKIセミコンダクタにて書き込み出荷する不揮発性メモリ。パッケージ組立後に電氣的書き込みを行うのでユーザーのROMデータ受入から商品納入までのリードタイムを短縮できる。